第 14 回副甲状腺機能亢進症に対する PT x 研究会 世話人役員会議事録

日時: 2024年9月7日(土) 8時30分~9時20分

場所:赤坂インターシティコンファレンス 302 会議室

【参加者】

顧問 秋澤 忠男 (昭和大学) 岩元 則幸 (医療法人弘操会 馬淵診療所) 特別会員 一森 敏弘 (日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院) 代表世話人 世話人 石井 保夫 (虎の門病院) 大石 一行 (高知医療センター) 角田 隆俊 (東海大学医学部付属八王子病院) 佐藤 伸也 (医療法人福甲会 やました甲状腺病院) 新宅 究典 (土谷総合病院) 長坂 隆治 (豊橋市民病院) 中村 道郎 (東海大学医学部付属病院) 日比 八束 (藤田医科大学) 宮 (隈病院) 章博 安永 親生 (済生会八幡総合病院) 横井 忠郎 (聖路加国際病院) 監事 渡邊 紳一郎(済生会熊本病院) 平光 高久 (日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院) 事務局 駒場 大峰 (東海大学医学部付属病院) スーハ°ーハ゛イサ゛ー

(敬称略・五十音順)

【配布資料】

- ・会則および役員名簿
- ・会計報告書(2023年度)

1) 代表世話人挨拶

・代表世話人 一森先生よりご挨拶いただいた。

2) 第 14 回学術集会について

・大会長 石井先生より、第14回学術集会ついてご案内いただいた。

3) 第 15 回学術集会について

・第 15 回学術集会大会長の「やました甲状腺病院 佐藤伸也先生」よりご案内 いただいた。

2025 年 9 月 13 日(土) 九州大学医学部百年講堂中ホール 「副甲状腺外科、次の 100 年に向けて」

4) 会則、役員について

- ・大阪急性期・総合医療センター 高尾徹也先生が世話人をご辞退された。
- ・ホームページ掲載の会則に「二次性」「定年制」「腎不全に合併する」の文言が 残っていると指摘があり削除することを確認した。
- ・役員新任について確認があった。推薦を得て役員の承認が必要と確認した。
- ・原発性副甲状腺機能亢進症に対しての PT x 登録をどう継続するか今後検討していく。
- ・「腎原性続発性」と「続発性」に対するレセプトの病名、NCD 登録について 意見があった。登録が統一されておらず、各データを使った統計に齟齬がある。
 - ※付記 腎原性続発性副甲状腺機能亢進症 N258 続発性副甲状腺機能亢進症 E211
- ・二次性副甲状腺機能亢進症の名称について内容に幅があり混乱が生じている。
 - 今後、当研究会役員施設にアンケートをとって統一することを目指したい。
- ・tertiary(三次性)についても国内で内科医と外科医、また海外との見解に解離があることが話合われた。
- ・当学術集会が日本内分泌外科学会専門医制度委員会認定の業績として認められる ようになった。周知を進めていきたい。

5) 会計報告

- ・長坂先生より第13回学術集会会計報告がされた。
- ・平光先生より 2023 年度の会計報告がされた。
- ・学術集会の協賛企業を集うのが難しくなっていて、大きな課題である。 収益を増やす方法について話合われた。
- ・学術集会の会費について話し合われ変更された。 医師 5,000 円→7,000 円 コ・メディカル 1,000 円→2,000 円

6) 今後の運営について

- ・日本内分泌外科学会、日本透析医学会、日本腎不全外科研究会など他の学会と 併せて開催することも提案され、今後の課題とする。
- ・より多くの先生方に参加してもらうため、学術集会の周知方法や会費について、 また研究会に対する施設会員の設定についてなどが話合われた。
- ・「PTx」という名称があまり浸透しておらず、当研究会の名称について今後わかりやすく変更することについて意見があった。
- ・事務局の移設について代表世話人の一森先生よりご挨拶いただいた。

 来年より藤田医科大学に事務局を移設することとし、次の代表世話人 日比先生からご挨拶いただいた。

7) 第16回学術集会(2026年)開催候補について検討

・未定